



W3C – World Wide Web Consortium – は Web 技術の標準化と推進を目的とした会員制の国際的な産学官共同コンソーシアムです。会員主導のアプローチとグローバル組織との協力体制からなる両輪を基軸として、全世界にわたる会員によるグローバルな運営を目指しています。400 近い組織が会員として参加しており、日本からは 30 以上の組織が参加しています。W3C 会員、W3C チームスタッフ、加えて国際社会からの貢献を基盤とし、真のグローバル組織としてオープンな Web の標準技術の開発を継続していくことで、Web の推進という社会からの寄託と使命を守り続けます。

W3C の主な活動は、技術仕様や指針を勧告として策定、標準化することです。業界標準として幅広く普及する XML、HTML、CSS、SVG など、Web の核となる多くの技術は W3C によって策定、標準化されました。また、次の命題を掲げてユニバーサルアクセスの実現に努めています。

– One Web –

– Leading the Web to its Full Potential –